

授業科目(ナンバリング)	観光学概論(CA111)			担当教員	陳 慶光		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・前期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
<ul style="list-style-type: none"> 観光学に関わる基礎的知識を修得する。 様々な事例から、現代観光が社会に及ぼす影響を分析して、その課題発見に役立てることができる。 							②⑦
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
専門力	(1)観光に関する基礎的な用語の使用法を区別できる。 (2)ライフスタイルを求める移動について、観光との共通点および相違点を説明できる。			(1)毎時の小レポート (1)随時試験 (2)随時試験		(1)15% (1)40% (2)10%	
情報収集、分析力	(3)観光における主要な事項に対して自らの考えを述べる ことができる。			(3)授業での取り組み		(3)35%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出 席				受験要件			
合 計				100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>(1)毎時の小レポートは、その取り組み度合から評価する。小レポートは、ポートフォリオに解答提出時に正答が提示され、履修者は自身の理解度を確認することができる。 随時試験は、観光に関する様々な概念の趣旨を身につけているかについて評価する。</p> <p>(2)随時試験では、使用したキーワードの適切さ、内容の具体性および論理的に説明ができるかなどから評価する。</p> <p>(3)授業での取り組みは、意見の有無およびその理由の具体性・独自性などから評価する。授業時に出された回答は、受講者自身の考えを相対化できるように、集計可能なものはその結果を提示する。また、適宜匿名で紹介し、担当教員よりコメントを加える。</p>							
授 業 の 概 要							
<p>授業全体を通して、ICTを活用した双方向型授業を行う。まず、観光学の展開とその役割を確認し、現代観光を考える上で重要な背景を俯瞰する。次に、観光研究の基礎的な概念・理論から、現代観光のもつ特徴を学ぶ。続いて、観光と深く関連する人の移動の特徴について考える。最後に、まとめとして現代観光の課題および観光学の果たしうる役割についてまとめる。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：特に指定しない。</p> <p>参考書：授業時に紹介するので、詳細を知りたい場合や知識を深めたい場合は参照のこと。</p> <p>指定図書：大橋昭一・橋本和也・遠藤英樹・神田孝治編：(2014)『観光学ガイドブック：新しい知的領域への旅立ち』ナカニシヤ出版。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
授業から学んだ現代観光に関する基礎的知識・視点をいかして、現代観光における様々な課題の発見に努めてほしい。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	イントロダクション	観光およびツーリズムの定義および概念の展開について学ぶ。	復習：シラバスの再読、イントロダクションの配布資料からキーワードを抽出してポートフォリオに記入【小レポート】。
2	現代観光の背景1 —近代以前の余暇・娯楽・「旅」—	近代以前における余暇・娯楽・「旅」の成立過程について学ぶ。	復習：現代観光の背景1の配布資料からキーワードを抽出してポートフォリオに記入【小レポート】。
3	現代観光の背景2 —近代化と観光—	近代化における余暇・観光の役割について学ぶ。	復習：現代観光の背景2の配布資料からキーワードを抽出してポートフォリオに記入【小レポート】。
4	現代観光の背景3 —観光の大量化・大衆化—	戦後における余暇・観光の展開について学ぶ	復習：現代観光の背景3の配布資料からキーワードを抽出してポートフォリオに記入【小レポート】。
5	現代観光の背景4 —観光の多様化1—	現代における観光の大量化・大衆化およびその変化について学ぶ。	復習：現代観光の背景4の配布資料からキーワードを抽出してポートフォリオに記入【小レポート】。
6	現代観光の背景5 —観光の多様化2—	現代における観光の大量化・大衆化およびその変化について学ぶ。	復習：現代観光の背景5の配布資料からキーワードを抽出してポートフォリオに記入【小レポート】。
7	現代観光の捉え方1 —ツーリズム空間、観光地間の相互関係—	余暇活動の空間的特性から観光地の集客圏について、また観光流動や旅行商品から観光地間の相互関係について学ぶ。	復習：現代観光の捉え方1の配布資料からキーワードを抽出してポートフォリオに記入【小レポート】。
8	現代観光の捉え方2 —旅行商品の供給システム—	旅行商品の供給体系から観光地間の相互関係について学ぶ。	復習：現代観光の捉え方2の配布資料からキーワードを抽出してポートフォリオに記入【小レポート】。
9	現代観光の捉え方3 —国際観光と地域イメージ—	国際観光における地域イメージの役割について学ぶ。	復習：現代観光の捉え方3の配布資料からキーワードを抽出してポートフォリオに記入【小レポート】。
10	現代観光の捉え方4 —食文化の地域資源化—	近年の食文化の地域資源化の効果について考える。	復習：現代観光の捉え方4の配布資料からキーワードを抽出してポートフォリオに記入【小レポート】。
11	現代観光の捉え方5 —ディズニー化—	ディズニー化という視点から、近年の観光の特徴を考える。	復習：現代観光の捉え方5の配布資料からキーワードを抽出してポートフォリオに記入【小レポート】。
12	ツーリズム再考1 —観光から移住へ—	退職移民およびロングステイなどを事例として、ライフスタイルを求める移動と観光の関連性を考える。	復習：ツーリズム再考1の配布資料からキーワードを抽出してポートフォリオに記入【小レポート】。
13	ツーリズム再考2 —バックパッキング—	バックパッキングなどを事例として、ライフスタイルを求める移動と観光の関連性を考える。	復習：ツーリズム再考2の配布資料からキーワードを抽出してポートフォリオに記入【小レポート】。
14	ツーリズム再考3 —留学—	留学およびワーキング・ホリデーなどを事例として、ライフスタイルを求める移動と観光の関連性を考える。	復習：ツーリズム再考3の配布資料からキーワードを抽出してポートフォリオに記入【小レポート】。
15	まとめ	随時試験を行う。	復習：これまでの講義資料の整理、キーワード索引の作成。